

発行：ひたちなか市の環境を良くする会
 会長 小川 和 昭
 編集：広報委員会
 監修：ひたちなか市環境保全課
 TEL：029-273-0111 (内3312)

環境かわら版

100万人のキャンドルナイト 2018 に参加 環境四季時計「夏祭り」



環境劇
 「かぐや姫のキャンドルナイト」
 本会の環境活動を竹のクラベスを使い紹介しました。

事業所会員の工機木のグループに式会社に竹の切断の保管に協力いただきました。

持ち帰りエコランタン作り



トランペット演奏



ココナッツ石井さん

6月23日(土) 17時30分～19時、市民交流センター多目的室で、ひたちなか・ま主催、本会及び各種団体の共催・協力で開催されました。
 キャンドルナイトは、平成13年、米政権のエネルギー政策に反対し、カナダで始まり世界に広まったスロライフ・ムーブメントで、日本では実行委員会が「100万人のキャンドルナイト」を電気を消してキャンドルの灯りの下で環境のことを考える日として全国に呼びかけ、平成15年から、夏至・冬至を中心とした期間の夜に行われています。
 ひたちなか市のキャンドルナイトは、平成18年から行われています。
 例年、屋外で開催されておりましたが、今年は雨のため規模を縮小し、室内での開催となりました。肩を寄せ合い、温かな雰囲気の中で、環境について考えたひとときとなりました。
 なお、事前準備では、



↑竹の間伐を利用したキャンドル立

ひたちなか理科クラブ

実験で温暖化を知ろう！

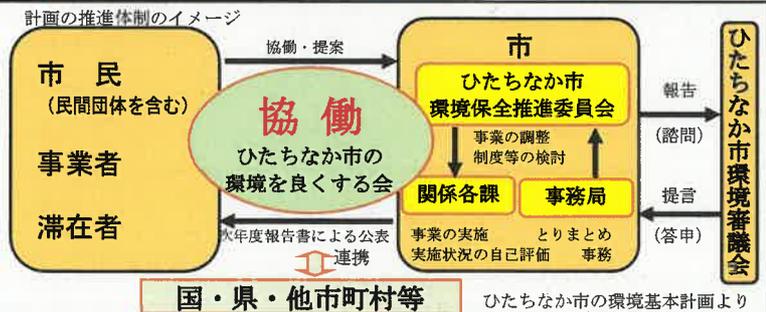


手回しで電気を作る



ドライアイスでシャボン玉を浮かす

計画の推進体制のイメージ



本会は、「ひたちなか市環境基本計画」に基づいて設立され、市民の身近な自然や環境を大切にすることを育むこと、環境保全行動の定着を図ることを目的に活動しています。具体的には、ごみ問題、地球温暖化防止、自然環境保全のテーマ毎に取組を計画し活動を行っています。

問合せ・申込先：ひたちなか市環境保全課
 TEL273-0111 (内線3312)

ひたちなか市の環境を良くする会

検索

「オオキンケイギク」除去作業 さわ野村自治会と協働活動

6月10日(日)佐和地区さわ野村団地脇の道路法面に「オオキンケイギク」が繁殖しており、さわ野村自治会と本会会員、県・市職員と協働で除去作業を行いました。

さわ野村自治会から多くの方が加され、31名で60袋(45ℓ入り)を除去しました。道路法面の傾斜地で地面も固く、また、雑草に囲まれ足元を気にしながら、根元から抜き取り除去作業を行いました。



満開: 5月26日撮影



道路わきの除草作業は、刈払い機での刈り取りを行っていたこともあり、根は大きく広がり、根から抜き取るのが難しいところもありました。今年は、例年よりも花が咲くのが早く、殆どの花は散っており、種子が出来て、根元には株分けしたように若い芽が密生していました。

環境省指定

特定外来生物(植物)

「オオキンケイギク」とは

生命力が強靱で繁殖率も高く、一度定着すると在来の野草を駆逐し、辺りの景観を一変させてしまうほどの性質を持っているため平成18年2月に指定されました。

(除去・処分方法)

多年草の植物であり、根から抜き取るのが効果的な除去方法です。

種子は、長期間発芽可能な状態で残るため、数年後でも発芽条件が揃えば発芽します。自宅や所有地で見かけた場合には、開花したら種子ができる前に根から抜き取ることが必要です。抜き取り後、ビニール袋などに詰めて2〜3日天日干し完全に枯死させた状態で、燃えるごみとして処分してください。なお、オオキンケイギクに毒性は確認されておりません。

これからの活動

- ◇そば栽培・そば打ち体験
 - 8月11日(土): 種蒔き
 - 11月: 収穫
 - 12月: そば打ち
- ※申込み: 栗田 裕子 (Tel: 029-263-6020)
- ◇緑のカーテンでエコチャレンジ
 - 4面参照
- ◇第17回世界湖沼会議
 - 10月16日(火) 視察研修 (会員限定)
 - 会場: つくば国際会議場
- ◇森林保全活動
 - 10月~3月: 第3土曜日
 - 作業時間: 9:30~12:00
 - 場所: 市内美田多町地区
- ※申込み: 磯前 博巳 (Tel: 029-264-1084)
- ◇篠刈活動
 - 11月18日、1月26日
 - 2月24日、3月17日
 - 作業時間: 10:00~12:30
 - 場所: 多良崎城跡
- ※申込み: 黒澤 恒康 (Tel: 029-285-7636)
- ◇環境講座
 - 内容: もとがとれる省エネ対策
 - 日時: 10月13日(土) 午後(予定)
 - 講師: 産総研 歌川 学 氏
- ◇生ごみ堆肥化
 - 「段ボールコンポスト」講習会
 - 時期: 11月(予定)

ご一緒に参加しませんか

わがまちの環境活動

ひたちなか市立高野小学校

高野小学校の敷地は、すぎの子園をはじめとして、水田や畑、そして所々に樹木があり、たくさんの方の自然に恵まれています。樹木も様々な種類があり、児童に身近に感じてもらうために児童による樹木調べを実施し、名前のプレートを取り付けました。さらに樹木に詳しいゲストティーチャーに特徴について、実際に樹木を見ながら説明を受けました。児童からは「木に興味をもつことができた」等の感想が数多くありました。

また、学区にもたくさんの方が残っており、虫を見ることが出来る場所があります。ピオトープを手がけているゲストティーチャーをお呼びし、虫の生態や虫が棲める環境を守っていくことの大切さについて、全校児童でお話を聞きました。

児童の自然保護に関する意識が高まりました。



樹木調べ

多良崎城跡の自然観察会

5月13日(日)天候に恵まれ、参加者は25名でした。桜や菜の花などが例年より1週間近く早いと言われていましたが、やはりこの花も早く咲き終わっているものが多いがありました。

自然観察会の講師は茂垣はるえ氏(NHKカルチャースクールの生物學担当)、サポートは鳥については幡谷勝義氏、きのこを担当するのは後藤多喜雄氏、蝶と山野草は川又知恵子氏(銚田山野草の会)が分担して行いました。遊歩道沿いに例年と同じくオオバノトンボソウが目に入ってきました。三の郭の花はほぼ終わっていました。本郭・二の郭にはタチツボスミシ、ホウチャクソウ、チゴリがありました。烽火台にはヤマツツジ、ムラサキザキゴケ、ヤブタバコなどがありました。残念な事に二の郭、三の郭、烽火台に今年も盗掘痕が8か所あり、県絶滅危惧種などの野草が持ち去られたと思われる。



モッタナイで始めたエコ活動も得をすれば苦にならないことが判りました。まさに「やっ得」で「なっ得」、つまり実行すれば得をするのです。これまでに試みてきたエコライフについて幾つか紹介します。第一回目は「スマートムーブ」、クルマと電車、バス、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける新たなエコスタイルを意味します。市内の移動はほとんど自転車です。市外には自転車と電車またはバスを利用しています。健康と環境にいいし、周りの風景を眺めたり自然とも触れ合えるのが楽しみです。たまに遠出で車を運転するときは勿論「エコドライブ」(車は妻と共有)

エコライフやっ得 スマートムーブのすすめ



平成24年と平成26年に実験セミナーを受けてから意識するようにになりました。発進・速度維持・停止がポイント。ただし、アイドリングストップ機能が付いている車でそれほど気にしなくてもよいと思います。私の車にはその機能が付いていないため赤信号に気づいたらアクセルを早めに離し、停止のときはシフトレバーを「N」にしています。その結果、以前よりエコドライブにつながっていると思っています。一か月のガソリン代は七千円ほどなので、エコドライブを極めれば平均二割ほど節約でき、年間一万六千円もお得になる計算です。(斎藤)

平成30年度総会開催

4月21日(土)ワークプラザ勝田で、市・経済環境部長に出席いただき、32名出席(委任19名)で総会を開催しました。

平成29年度事業報告と会計報告、及び、平成30年度事業計画と予算の説明が行われ、すべての議案が承認されました。



会長から、環境啓発活動・事業を積み重ね、行政・市民の皆様と協働で環境活動の輪を広げて行きたい旨の挨拶がありました。総会閉会后、出席者と和やかな雰囲気の下、懇親会を開きました。

環境よもやま 4コマ ~スマートムーブ~

応募してみませんか?

くもつともつと広げよう

第4回「緑のカーテンでエコチャレンジ」

夏場の暑さ対策・省エネ対策は万全でしょうか。本会では、春先から希望者に緑のカーテンの種や苗を配布し、緑のカーテンの普及に取り組んでいます。

8月1日～31日の間、緑のカーテンに取組んでおられる皆さんから、育成状況を報告して頂き、昨年と同様に中学区ごとに育成面積を集計し、緑のカーテンの広がりを確かめたり、またその効果をできるだけ「見える」形で表したいと考えています。

個人でも、団体でも、また町内ごとでも参加できますので、ぜひご応募ください。応募される方は、所定の応募用紙(お近くのコミュニティセンター)にお近くのコミュニティセンターに置いてあります。(左写真を参考に緑のカーテンの面積や感想などを記入の上、本会へお届けください。詳しくは、本会ブログ(「ひたちなか市の環境を良くする会」で検索)でご覧になるか、山形(0800・1194・3207)までお問い合わせください。また、来年の「緑のカーテンでエコチャレンジ」実施に向けて、今年収穫した種を譲って頂ける方は、萩谷(090・3001・6444)まで、ご連絡ください。



また、来年の「緑のカーテンでエコチャレンジ」実施に向けて、今年収穫した種を譲って頂ける方は、萩谷(090・3001・6444)まで、ご連絡ください。

センターに置いてあります。(左写真を参考に緑のカーテンの面積や感想などを記入の上、本会へお届けください。詳しくは、本会ブログ(「ひたちなか市の環境を良くする会」で検索)でご覧になるか、山形(0800・1194・3207)までお問い合わせください。

会員だより

ひたちなか市に住んで間もなく8年が経つ。私達を取り巻く気候変動、自然環境、廃棄物、化学物質等の環境問題について、次の世代のため何とかしなければと思っただけでも、具体的な目標が分からず日々を過ごしていた。そんな時、つくば市では持続可能都市として、国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」の考え方を取り入れて、地域の環境、社会、経済の課題を解決していることを知った。

ひたちなか市でもこれらの課題を解決するためSDGsの考え方を取り入れれば、持続可能な住みやすい街を次の世代に繋ぐことができるとは思えないか。そんな想いもあって今年から会員になった。(豊田)

==== 寄稿 ====

段ボールコンポストの生ごみ堆肥、我が家の庭で大活躍

馬渡在住 60代女性

会員に勧められて、これなら、わたしにもできそうだと始めた「段ボールコンポスト」です。野菜クズ、果物の皮、残飯等、何でも入れて、毎日かき混ぜておくだけです。不思議なことに、フカフカの肥料に変身していきます。

おかげで、我が家のゴミ出しは週一回になりました。できた肥料は、庭木に、鉢植えの花や野菜作りにと大活躍です。友人にもおすそわけをしています。

今年は、庭のしゃくなげの花が今年の2倍以上も咲きました(写真)。その他の花たちや野菜もイキイキとしています。

この夏もゴーヤの緑のカーテンで、エアコンの出番は、減りそうです。ゴーヤの果実はサラダで食べるのが一番で、あの苦味は癖になります。



この夏もゴーヤの緑のカーテンで、エアコンの出番は、減りそうです。ゴーヤの果実はサラダで食べるのが一番で、あの苦味は癖になります。

<段ボールコンポストの作り方>

ミカン箱くらいの段ボール箱に、堆肥化基材(ピートモス、もみ殻燻炭等)を入れ、生ごみを加えてかき混ぜれば完成。堆肥として使うには、6ヵ月程何もせず、熟成させてから使います。

ひたちなか市の環境を良くする会 事業所会員の紹介

<p>ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町103-2 TEL (029) 265-5371</p>	<p>木質バイオマス発電所 (株) バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974-1 TEL029-270-3341</p>	<p>ひたちなか馬渡店</p>	<p>廃棄物の中間処理施設</p> <p>株式会社 カツタ ひたちなか市高野1968-2 TEL (029) 270-3711(内) http://www.eco-katsuta.com/</p>	<p>日立工機株式会社は、会社名が「工機ホールディングス株式会社」に変更になりました。 電動工具のブランドは、2018年10月「HIKOKI」に変わります。</p>	<p>廃棄物からエネルギーへ</p> <p>私たちの使命は、つなげること 株式会社 エコエナジー 〒312-0002 茨城県ひたちなか市高野1968-2 TEL 029-270-3341 http://www.katsuta.jp</p>
<p>化粧品・日用品・ アロマまで、石油系化学物質を使わない、人と環境を守る製品です。シナリー桜季(株) TEL029-271-0766</p>	<p>ガーデン・エクステリアのデザイン・施工</p> <p>http://www.mams-garden.com/ プロが選ぶガーデン造園の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/</p>	<p>茨城県ひたちなか市和町3 13400-2</p>	<p>私たちは、 美しい地球を次の世代へ!</p> <p>のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 御日立製作所水戸事業所</p>	<p>Globe Teamwork コマツ 茨城工場 〒312-0002 茨城県ひたちなか市高野1968-2 http://www.komatsu.co.jp</p>	<p>リコーインダストリー(株) 勝田事業所</p> <p>ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp</p>